

平成25年度

# 学校だより

第31号

2013年12月14日

ヒューストン日本語補習校

## 小3 工場見学発表会 12/7

11/2 に工場見学をさせていただいたカネカ (Kaneka Americas Holding, Inc.) より、藤井社長をはじめ3人をお招きして発表会がおこわれました。

はじめに各組3名が、見学で学んだ事や感想などを発表しました。次に3年生一人ひとりが作製した「カネカ」のポスターと見学記の贈呈があり、藤井社長さんからお話しをお聞きました。



—藤井社長のお話しより—

はじめに二つの質問に答えます。

- ①1日のユビキノール生産粒数は約3億粒です。
- ②アピカル開発のきっかけは「熱に強く破れない物を作ってほしい」ともとめられたこと、研究開始から工場を建設し製品を送り出すまでに10年かかりました。

皆さんは事前によく学習し、熱心に見学してくれました。その様子はカネカ社内報に掲載し、日本をはじめ世界各地7500人に配布されます。

私は皆さんに二つお願いがあります。

私は皆さんの学年の頃から中3までニューヨークに住み、補習校にお世話になりました。その頃の苦労は現在役に立っています。皆さんも現地校との両立で大変でしょうが、将来のためがんばってください。

科学はみんなの夢や希望実現させるものです。皆さんも「夢」を持ってほしいと思います。生活に役立つ物は？生活を豊かにする物は？ということにも関心をもって生活してほしいです。それが科学を進歩させる原動力になるのです。

「補習授業校派遣教員研究協議会」(補習校校長会)  
在ボストン日本国総領事館  
武藤総領事の講演 ②

<グローバル人材とは>外国語力よりもリーダーシップ。日本の国際的地位は向上してきていると思う。以前の経済的地位の高さだけでなく、現在は政治的な力すなわち国際的秩序保持の力が向上し、その役割を果している。諸外国のリーダーと互して国際社会のルール作りにも貢献できる人材(かつては出来上がっているルールに従っていくという考えであったが、変革の激しい現在は新しいルール作りに参加できる人材)がグローバル人材なのであろう。

アメリカではリーダーシップを身に付けさせる子どもの育て方をしている。カブスカウト等から始まり各種の協力隊、兵役さえもそれに繋がっている部分があり、社会全体でサポートしている。これはDNAの問題ではなく、社会構造の問題であろうと思われる。日本への短期研修に参加する米国学生は今でも多い。それは、将来日本の企業に就職するためではなく、リーダーシップ養成の一環としてとらえているようだ。

<日米>日本にとって歴史的に見て中国の影響は文字をはじめとして揺るぎないものがあるが、日本の近代化を考えると米国は日本に大きな影響を与えている。たとえば・ジョン万次郎・クラーク博士・フェノロサ、米国で学び日本の近代化に貢献した人物は数え切れないほどである。今年JFケネディ没50周年、彼は当時の安保問題を巡る日米関係を憂慮し、ライシャワー氏を駐日大使に任命した。訪日を命ぜられた弟RFケネディは早稲田大学で学生との対話に成功した。その後軍事だけでなく文化的交流が拡大されてきて、日米各都市間での姉妹都市提携も盛んになった。しかし



最近それが細ってきているのではないかと危惧している。姉妹都市交流が事実上休止していることが多く、底流での空洞化現象を感じている。草の根交流活動が2国間に果たす役割はとて大きいと思っている。そんな時、駐日大使就任が決まった、「父の考えを実現したい」というキャロラインケネディ氏には大いに期待するところである。

## 第2回 漢字検定 (11/9) 結果

今回は次の皆さんがそれぞれの級に合格しました。

中3	木下 美颯		
中2	森岡 秀平	渡部 雄飛	
	米林 慧祐	油井 馨	
中1	奥原 咲月	岡崎 菜々花	
小6	松本 慧	鯉沼 明日香	
	天野 桃子	五十嵐 礼	
	武智 愛綾	岩崎 小春	
	森岡 優		
小5	植村 祐斗	横地 遥	
	ウイリアムズ 新菜		
小4	鯉沼 大和	チャンドラー 鷹	
	天野 太一	西尾 信之介	
	中村 太一	武智 誼晏	
小3	真鍋 舞桜	岡崎 ひかり	
	プライス 敦子	鈴木 賢太	
小2	山上 凱生	松本 彩花	
	轟木 綸印	鶴田 健祐	
	中村 優太		
小1	横山 凌大	花田 光翼	
	原 大治	堀江 夏大	
	和田 怜晟		
幼	山崎 港太		

次回は2/8です。学年のまとめとして受験してみたいかがでしょうか。



## ◆パトロール当番予定表 12月21日◆

これは12・1月当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	中2	1 2	佐藤 沙彩
		2	米林 慧祐
		3	竹山 泰虎
		4	寺田 裕
		5	原 慶洋郎
		6	藤井 龍之介
		7	蜂谷 愛海
★PM1リーダー	中2	1 9	中村 優太
		2	五十嵐 晴
		3	寺田 凌大
		4	森岡 秀平
		5	川本 さくら
		6	油井 馨
		7	前田 明里

## 生徒作品

### 中2『私の枕草子』

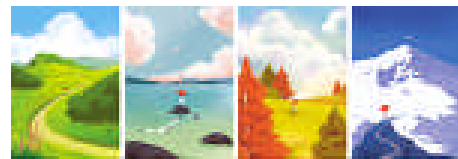
橋本 晴菜

春はチューリップ。  
赤、ピンク、黄色と全ての色がそろった時、そこは入学式となる。  
カラフルな色は、私に勇気をくれる。  
夏はひまわり。  
小さな種から大きく成長している時、それは私の思い出となり、黄色い大きな花は希望をくれる。  
秋はコスモス  
ピンクの花たちが風でゆれている時、そこは花畑となる。  
うすいピンク色は、私をやさしく包んでくれる。  
冬は葉のない木。  
葉が全部落ちてしまった時、それはもう冬の始まりとなる。  
なにもない木は過去のことを思い出させてくれる。



岡崎 公士朗

春は勝負どころ。  
休みが少ないと実感するとき、ある人は落ち、ある人は進める。  
どちらに行くかは自分次第。  
夏は息抜き。  
休みの天国最高の時、皆が安らげる。  
時間を有効に使い、成長するべし。  
秋は分かれ道。  
生活に慣れが出るとき、強みを伸ばし、弱みを潰す。  
限りない努力が鍵。  
冬は節目。  
一年の終わりが見える時、その一年を振り返る。  
より良い一年のために反省が必要。



## 学籍

在籍数 (12月14日現在) 383名  
幼40名 小248名 中67名 高28名

## Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077  
Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)  
Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

H.P.に於て学校便りをカラーでご覧になれます。

( 文責 : 校長 山岡 清孝 )